

# 気象情報をキャッチ

## 集中豪雨に注意

集中豪雨とは、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりごろによく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、予期は困難です。小中河川のはん濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予想されます。がけ付近や造成地、扇状地などは気象情報に十分注意し万全な対策をとるようにしましょう。

大雨情報をキャッチしたら、我が家で安全対策を始めましょう。



### 大雨洪水注意報・警報の発表基準

#### 大雨洪水注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。具体的には次の条件に該当する場合は、  
●1時間に雨量が25mm、総降水量60mm以上になると予想される場合  
●3時間に雨量が50mm  
●24時間に雨量が100mm

#### 大雨洪水警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合。具体的には次の条件に該当する場合は、  
●1時間に雨量が40mm、総降水量100mm以上になると予想される場合  
●3時間に雨量が80mm  
●24時間に雨量が150mm

(奈良地方気象台・奈良県北西部発表基準)

### 雨の強さと降り方

1時間雨量(ミリ)	予報用語	人の受けイメージ	災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る。	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。
20~30	強い雨	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れがはじまる。
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く。)	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感や恐怖を感じる。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。



- ラジオやテレビなどで気象情報にはくれぐれも注意をする。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常持出品を準備しておく。

- 外出からは早く帰宅し、むやみに外出しない。
- 浸水に備えて貴重な家財道具などは高い場所へ。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 高齢者や乳幼児、病人などを安全な場所へ。

つねに気象情報には、注意しておきましょう!



## 土砂災害の起こる前ぶれ

災害発生前に危険を知らせる前ぶれが起こることがあります。もし、このような現象が見られた場合は、周りの人に知らせて早く避難しましょう。

### ●土石流の場合



山鳴りや、立ち木の裂ける音、石のぶつかりあう音が聞こえる。



川の水が急ににごったり、流木が混ざりはじめる。



雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

### ●地すべりの場合



地面にひび割れができる。



沢や井戸の水がにごる。



斜面から水が噴き出す。

### ●がけ崩れの場合



がけからにごった水が湧き出ている。



がけに亀裂が入る。



小石がパラパラ落ちてくる。